

## 北海道大学交流デー（忠南大学校）を開催

本学では、共同教育・研究及び学生交流を更に促進するため、韓国ソウルオフィスが中心となり、3月11日（月）に韓国中部に位置する大田広域市の忠南大学校において、北海道大学交流デーを行いました。

忠南大学校と本学は2001年7月に大学間交流協定を締結した後、2016年2月に薬学研究院・薬学部との間で部局間交流協定を締結し、2018年1月にはOh Deog-Seong学長が本学を訪問されるなど交流を続けています。本学工学研究院と忠南大学校工科大学とは、1990年代から長い交流の歴史があり、研究者や学生の交流を重ねています。

今回の大学交流デーでは、両大学の工学系の研究者交流を中心にジョイントシンポジウムを開催し、忠南大学校からはYu Sangseok工科大学副学長をはじめ教職員及び学生約25人が参加しました。ジョイントシンポジウムは、同大学校Institute of Advanced Transportation

の所長であるKim In-Gul教授の挨拶からはじまり、続いて、小林幸徳工学院院长が挨拶しました。その後、両大学から講演\*を行い、本学工学研究院からは小林工学院院长、佐々木克彦教授、東藤正浩教授、戸谷 剛教授、武田 量助教授がそれぞれ発表し、質疑応答や意見交換が行われ、実りある交流デーとなりました。

大学交流デーに際し、開始前には忠南大学校工科大学／産業大学院のChoi Hoon工科大学長を表敬訪問し、両大学の工学関係について懇談を行い、本学韓国ソウルオフィスの車 柱榮所長

から本学の概要や国際交流の状況について説明を行いました。また、大学交流デー後には、忠南大学校工科大学の施設や実習室、ナノ工学部や航空宇宙・船舶海洋工学部などの研究室を案内いただき、交流を深めました。

今後も国際連携機構では、韓国における教育・研究機関等との連携拡大、教員や学生の相互交流の促進、卒業生ネットワークの構築を行い、幅広い面での交流を強化していきます。

（国際部国際連携課）



シンポジウム参加者による集合写真

### \* 講演内容（及び講演者）

#### Session 1:

Introduction of School of Engineering and Lab of Robotics and Dynamics  
(Yukinori Kobayashi)

Vibration Reduction and Performance

Improvement Analysis Using Individual Blade Pitch Controls for Lift-offset Rotors (Park, Jae-Sang)

Computational Simulation on Mobile and Medical Devices (Katsuhiko Sasaki)

The Velocity Planning for the Off-road Unmanned Ground Vehicle (Kim, Sung-Soo)

#### Session 2:

Experimental understanding on durability of PEMFC short stack under vehicle driving cycle (Yu, Sangseok)

Heat Release in Heating Process from a Heat Storage Material, AMP, with Solid-solid Phase Change Material (Tsuyoshi Totani)

A Numerical Study on the Transition of Metal Transfer from Globular to Spray Mode in GMAW (Chung, Hyun)

#### Session 3:

Multi-scale Mechano-structural Relationships of Mineralized Bone Matrix  
(Masahiro Todoh)

Introduction to Clinically Applicable Biomechanics Research  
～ From Ligament Tissue to Blood Vessels ～ (Ryo Takeda)

High Accuracy Measurement System Using Dual Absolute Encoders (Lee, Kyung-min)



忠南大学校Hoon工科大学長への表敬訪問



忠南大学校施設視察